

# 美作岡山道路（吉井 IC-柵原 IC）建設事業に係る環境影響評価準備書 に対する知事意見

平成29年3月14日

## 1 総論評価

### (1) 事業計画について

工事施工場所や工事方法の具体化に際しては、環境への影響の回避、低減が図られるよう十分に配慮すること。

### (2) 環境負荷の低減について

工事に際しては、濁水処理施設や建設機械等について適切に維持管理するとともに、環境保全措置の内容について工事関係者への教育や指導により徹底すること。

また、環境負荷の低減につながる工法や環境保全措置の開発状況を情報収集し、積極的に取り入れること。

### (3) 環境管理について

事業完了までに相当の期間を要することから、環境管理においては、周囲の社会状況及び自然状況が大きく変化することも含めた調査を行い、必要に応じて予測結果の検証を行うとともに、その結果に基づいて追加措置を講じること。

### (4) 住民理解について

周辺地域に対して、今後具体化する事業計画や環境管理の結果等を適時適切に情報提供するよう努めること。

## 2 各論評価

### (1) 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持

#### ア 大気環境

(ア) 建設機械の稼働及び発破作業による騒音・振動の予測結果において、環境保全措置を講じない場合には環境保全目標を超えるとしている場所については、環境保全措置を徹底すること。加えて、環境管理において、調査頻度を増やす等により適切に結果を把握し、その結果に応じた追加措置を実施すること。

(イ) 工事中の資材運搬車両の走行による騒音・振動レベルの増加が大きい地域では、実行可能な範囲で低減を図ること。

特に、市道先谷線は、道幅が狭く、民家も近いため、環境保全措置の徹底はもとより、低速で走行する等、より一層の低減に努めること。

- (ウ) 自動車走行に伴う騒音については、狭い区間にトンネルや高架が連なる道路構造を有し、予測の伝搬計算式も複雑であるため、環境管理において、予測地点の他にも調査地点を追加するなど十分な調査を行うとともに、その結果に応じた環境保全措置を講じること。

特に、高架裏面やトンネル抗口部、盛土部側壁からの反射音が懸念される稲蒔地区については、保育園や診療所が立地している状況も考慮して調査地点を選定すること。

#### イ 水環境

- (ア) 濁水対策のため、降水量の多い時期は裸地の出現を極力抑える工事計画とすること。

- (イ) トンネル工事により、予期せず井戸水の汚濁等が生じることも考えられるため、環境管理における水位調査を実施する際、水位の変動や水の濁りが認められた場合には、水質調査を実施するなど適切な対応を行うこと。

#### ウ 土壌環境

環境管理において環境保全目標に適合しない有害物質が土壌から検出された場合には、当該土壌の飛散・流出等を防止するとともに、事業実施区域外へ搬出する場合には、土壌汚染対策法の規定を踏まえ、適切に処理すること。

### (2) 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全

#### ア 動物

- (ア) 類似環境への動物の移動にあたっては、代替地の創出状況をはじめ移動先の生息密度や他生物の状況等を十分考慮すること。

- (イ) 営巣が確認されたミサゴ・サシバについては、確実に環境保全措置を実施するとともに、これら以外の猛禽類についても、環境管理における調査対象に加え、営巣が確認された場合は必要な環境保全措置を講じること。

- (ウ) 生物の移動に配慮し、脱出用スロープ付水路については、他採用事例での実績も考慮した上で、スロープ角度が緩やかなものにすることや、場所に応じて、L字型側溝等を採用すること。また、先谷池付近の水路への盛土工事では、ボックスカルバート内に自然性に配慮した水路を設けるなどの措置を講じること。

#### イ 生態系

湿潤地の代替地創出について、創出場所、完成イメージ、生物が生育・生息可能な環境が整うまでのスケジュール、完成後の管理体制を具体的に明らかにした上で、有識者の意見を踏まえて有効性を検証し、その結果を評価書に記載すること。

(3) 地域の景観の保全及び人と自然との豊かな触れ合いの確保

ア 文化財

工事にあたっては、遺跡等を極力残す工法を採用するとともに、埋蔵文化財は地表観察で認知できないことが多いため、工事施工場所の設定にあたっては、事前に十分な調査を行った上で、関係機関と協議すること。

特に、周匝茶臼山城跡は、中世山城としての城郭構造を良好に残す貴重な山城であるため、関係機関と協議し、トンネル坑口の位置や形式、架橋の方法や色彩等について、山城との調和に配慮すること。

イ 天然記念物

事業実施区域周辺の吉井川流域で発見の記録がある特別天然記念物のオオサンショウウオについて、環境管理計画に事後調査等の実施を盛り込むこと。